

令和5年度 日本医療情報学会九州・沖縄支部会 秋季研究会のご案内

大分大学医学部附属病院 医療情報部教授
病院長補佐（ICT・危機管理担当）下村 剛

拝啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度日本医療情報学会九州・沖縄支部会秋季研究会を、下記の要領で開催いたしますので、ご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

テーマ：いまそこにある危機への対応

開催日時：2023年10月21日（土）13:00-16:30

開催場所：大分大学医学部附属病院 臨床大講義室（現地開催）

参加費：日本医療情報学会員 無料 非会員 1,000円

会費は、当日、会場受付でお支払いください。

参加申込：事前登録

- ・ 当日受付の混雑を避けるために、ホームページ内の事前登録のページからの登録にご協力よろしくお願いいたします。
- ・ やむを得ない場合は、当日会場でも受け付けいたします。

受付期間：令和5年9月4日(月)～10月20日(金)

ホームページ：<http://jamikyuki2023oita.wp.med.oita-u.ac.jp/>

※医療情報技師ポイント4ポイント付与

以上

趣旨

全国で多発する多様かつ複合的な災害への備えが求められるなか、大分大学ではクライシスマネジメント機構を設置して、減災・復興デザイン教育研究センター、グローバル感染症研究センターおよび医学部附属病院災害対策室が組織の枠を超えて活動しており、災害・医療情報を適切に管理・共有するシステムの開発や事業継続計画（BCP）等を推進しています。このような経緯から大分大学ならではのテーマとして「いまそこにある危機への対応」を選択したしだいです。

さて、災害医療にかかる病院のBCPは、災害拠点病院に義務づけられたことから策定されている病院も多いと思われます。昨今の大阪急性期医療センターやつぎ町立半田病院のランサムウェア被害報告を鑑みて、サイバーセキュリティへの関心が大きくなり、IT-BCPの重要性が高まっています。BCPとIT-BCPは関連が深いはずですが、マネジメントする部署が異なるためか、同じ土俵で協議されることが少ないと感じています。大分大学では、私が両方の担当部署のマネジメントしていることから、このような企画を準備いたしました。

大規模な災害（ランサムウェア被害も含む）においては、指揮命令系統をはっきりさせて、情報管理をしっかりと行い、適切は評価を行い計画を立てて対応することが重要であり、情報を制する者が災害を制すると言われていています。特別講演1におきましては、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター鶴成悦久センター長に「防災・減災のための災害情報活用プラットフォーム（EDiSON）」の演題で、ご講演いただきます。このプラットフォームは、災害のあらゆる情報を管理・共有し、AIを使った被害予想なども行っている画期的なシステムとなっています。特別講演2では、大阪急性期医療センターのインシデント発生時に現地の総括責任者として活動されました日本電気株式会社ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門医療ソリューション統括部 中島誠一郎事業主幹にご講演いただきます。質疑応答の時間を長めに取っておりますので、実際の現場担当をされた経験から、報告書に記載のないお話も伺えると思います。また、最終セッションでは、BCPとサイバーセキュリティ対策に関する3演題を大分大学から用意しました。

本研究会は、コロナウイルスが5類になったこと、特別講演2などでは機微な内容の議論が予想されることより、現地開催のみとさせていただきます。大分の海の幸、山の幸や温泉もお待ちしておりますので、ご参加をよろしく願いいたします。

大分大学医学部附属病院医療情報 下村 剛
令和5年9月1日

令和5年度 日本医療情報学会九州・沖縄支部会 秋季研究会プログラム

(担当校：大分大学)

開催日時：2023年10月21日(土) 13:00-16:30

開催場所：大分大学医学部附属病院 臨床大講義室

(現地開催)

参加費：会員 無料 非会員 1,000円

※医療情報技師ポイント4ポイント付与

研究会プログラム

テーマ：いまそこにある危機への対応

13:00 開催の挨拶

第1部 特別講演1

(発表50分 質疑応答10分)

座長 大分大学医学部附属病院 医療情報部教授 下村剛

13:05-14:05 「防災・減災のための災害情報活用プラットフォーム (EDiSON)」

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 鶴成悦久 センター長

(休憩 5分)

第2部 特別講演2

(発表30分 質疑応答15分)

座長 大分大学医学部附属病院 医療情報部准教授 安德恭彰

14:10-14:55 「インシデントからの復旧作業について—大阪急性期医療センターでの経験—」

日本電気株式会社ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門

医療ソリューション統括部 中島誠一郎 事業主幹

(休憩 10分)

第3部 BCPとサイバーセキュリティ対策

座長 大分大学医学部附属病院 医療情報部副部長 後藤芳美

15:05-15:35 「大規模災害に備える事業継続計画 (BCP)」

大分大学医学部附属病院災害対策室 副室長 中嶋辰徳

15:35-15:55 「事業継続計画 (BCP) と IT-BCP の連携について」

大分大学医学部附属病院 医療情報部教授 下村剛

16:00-16:30 「病院に求められるサイバーセキュリティ対策」

大分大学医学部附属病院 医療情報部准教授 安德恭彰

16:30 閉会の挨拶

令和5年度 日本医療情報学会九州・沖縄支部会 秋季研究会

テーマ:いまそこにある危機への対応

開催日時：2023年10月21日（土）13:00-16:30

開催場所：大分大学医学部 臨床講義棟 2階
臨床大講義室（現地開催）

参加費：会員無料 非会員1,000円

※医療情報技師ポイント4pt付与

<http://jamikyuki2023oita.wp.med.oita-u.ac.jp/>

※HPからの事前登録にご協力ください。（9月4日～）



大分市美術館から大分市街地を望む

第1部 特別講演1

・防災・減災のための災害情報活用プラットフォーム（EDISON）

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 鶴成悦久センター長

第2部 特別講演2

・インシデントからの復旧作業について－大阪急性期医療センターでの経験－

日本電気株式会社ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門 中島誠一郎事業主幹

第3部 BCPとサイバーセキュリティ対策（3演題）

主催：大分大学医学部附属病院医療情報部 TEL 097-586-5480